

平成12年 人口動態統計の年間推計

平成12年の年間推計の数値は、人口動態統計速報の平成12年1月から10月分までを基礎資料として、日本における日本人について推計したものです。

人口動態総覧，前年比較

	実 数			率		平均発生間隔	
	平成12年(A)	平成11年(B)	差(A) - (B)	平成12年	平成11年	平成12年	平成11年
出 生	1 189 000	1 177 669	11 000	9.5	9.4	分27秒	分27秒
死 亡	961 000	982 031	-21 000	7.6	7.8	33″	32″
自然増加	228 000	195 638	32 000	1.8	1.6	…	…
死 産	38 000	38 452	0	31.0	31.6	13′ 52″	13′ 40″
婚 姻	788 000	762 028	26 000	6.3	6.1	40″	41″
離 婚	262 000	250 529	11 000	2.09	2.00	2′ 01″	2′ 06″

注：平成11年は確定値である。

出生・死亡・自然増加・婚姻・離婚率は人口千対，死産率は出産（出生＋死産）千対である。

率算出に用いた人口：平成12年10月1日現在推計日本人口 125,655,000人（総務省統計局推計の同日現在総人口（概算値）から，人口動態統計課で試算）

1 出生数は増加

出生数は118万9000人で，平成11年の117万8000人より1万1000人増と推計される。

出生率（人口千対）は9.5となり，平成11年の9.4を上回る。

2 死亡数は減少

死亡数は96万1000人で，平成11年の98万2000人より2万1000人減と推計される。

死亡率（人口千対）は7.6となり，平成11年の7.8を下回る。

なお，3大死因の死亡数は，第1位が悪性新生物で29万6000人，第2位心疾患14万7000人，第3位脳血管疾患13万1000人と推計される。

また，死産数は3万8000胎，死産率（出産千対）は31.0と推計される。

3 婚姻件数，離婚件数は増加

婚姻件数は78万8000組で，平成11年の76万2000組より2万6000組増と推計される。

婚姻率（人口千対）は6.3となり，平成11年の6.1を上回る。

また，離婚件数は26万2000組で，平成11年の25万1000組より1万1000組増と推計され，離婚率（人口千対）は2.09となり，平成11年の2.00を上回る。組数，率ともに過去最高である。

人口動態総覧の年次推移

